

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「225ブル型オープン3」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、わが国の株価指数を対象とした先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが、わが国の株式市場全体の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末(2015年5月26日)

基準価額	19,185円
純資産総額	1,223百万円
第1期	
騰落率	91.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

225ブル型オープン3

追加型投信/国内/株式/特殊型(ブル・ベア型)

作成対象期間：2014年5月27日～2015年5月26日

交付運用報告書

第1期(決算日 2015年5月26日)



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2014年5月27日~2015年5月26日)



設定日：10,000円

期 末：19,185円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 91.9%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(主なプラス要因)

- ・日経225先物の価格が上昇したことが主なプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

(2014年5月27日~2015年5月26日)

1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	126	0.940	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(59)	(0.442)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(60)	(0.444)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	25	0.188	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(25)	(0.188)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	2	0.012	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	153	1.140	
期中の平均基準価額は、13,412円です。			

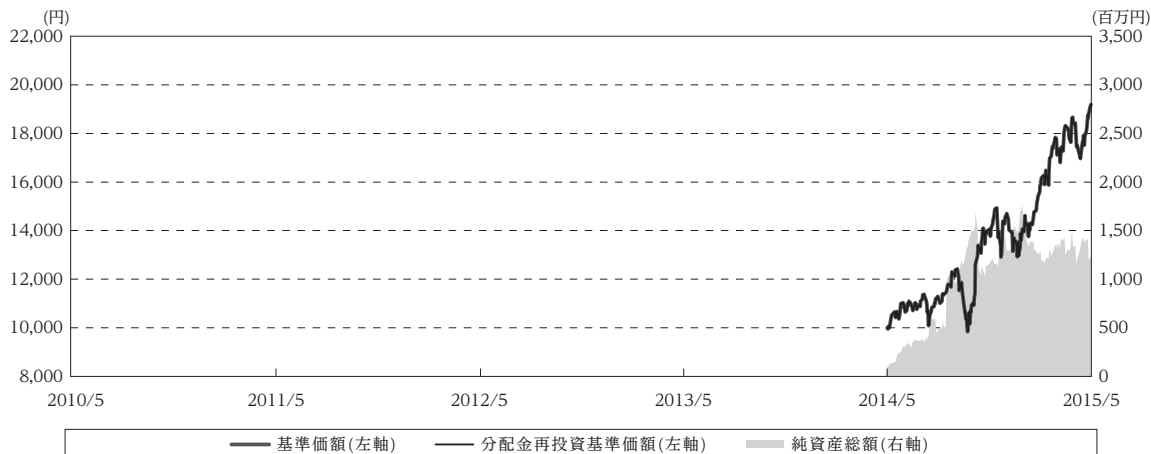
(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注)各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(2010年5月26日~2015年5月26日)

最近5年間の基準価額等の推移



(注)分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)当ファンドの設定日は2014年5月27日です。

		2014年5月27日 設定日	2015年5月26日 決算日
基準価額	(円)	10,000	19,185
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	91.9
日経平均株価(225種)騰落率	(%)	—	39.6
純資産総額	(百万円)	100	1,223

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注)騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2015年5月26日の騰落率は設定当初との比較です。

(注)日経平均株価(225種)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2014年5月27日~2015年5月26日)

国内株式市場は、国際通貨基金（IMF）による世界景気見通しの下方修正などが嫌気され、下落する場面もありましたが、日銀による追加金融緩和策の決定などを好感し、2014年12月上旬にかけて上昇しました。その後は、原油価格の急落などを受けてもみ合いとなりましたが、2015年1月中旬以降は、経済指標の一部で国内景気の緩やかな回復が確認されたことなどから、上昇傾向となりました。期末にかけては、一部企業の1-3月期の業績が予想を上回ったことなどを背景に、更なる上昇となり、日経平均株価はおよそ15年1ヵ月ぶりとなる20400円台を回復しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年5月27日~2015年5月26日)

[先物組入比率]

日々の追加設定・解約申込みに対し、当日中に日経225先物を調整売買し、実質的な先物組入比率を200%程度に保ちました。

[当期間の運用状況]

日経225先物を買建て、日々の基準価額の動きがわが国の株式市場の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行いました。具体的には、ファンドの日々の純資産総額に当日の追加設定・解約申込みの資金を考慮した金額に対して日経225先物がほぼ200%の組入比率になるよう調整売買を行いました。

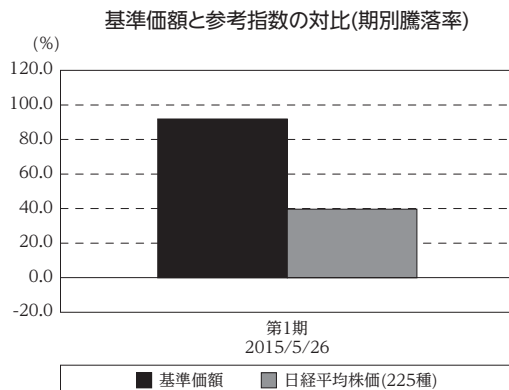
また、信託金に関しては、公社債及びコール・ローン等で安定的に運用いたしました。

(2014年5月27日~2015年5月26日)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注)基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注)参考指数は、日経平均株価(225種)です。

(2014年5月27日~2015年5月26日)

分配金

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。当期につきましては、委託会社の判断により収益分配を行いませんでした。

なお、留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2014年5月27日~2015年5月26日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	9,184

(注)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き追加設定・解約申込みに留意し、日々の基準価額の値動きが、わが国の株式市場の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行ってまいります。

お知らせ

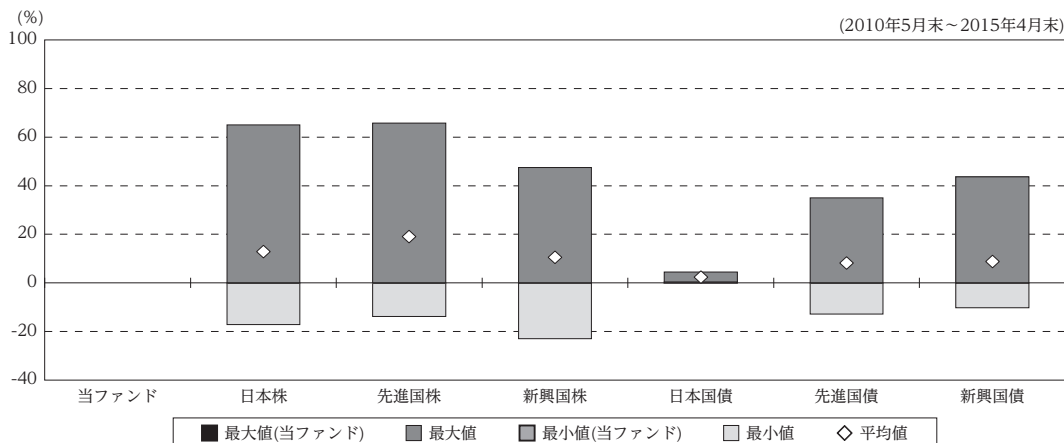
- ・ 法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）
- ・ 弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 - ① 運用企画部の新設
 - ② 投資調査部を投資情報部に改称
 - ③ 運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④ トレーディング部を運用本部から分離

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式／特殊型（ブル・ベア型）
信 託 期 間	2014年5月27日から2017年5月26日までです。
運 用 方 針	わが国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが、わが国の株式市場全体の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	わが国の株価指数先物取引を主要投資対象とします。
運 用 方 法	運用にあたっては、株価指数先物取引の買建てを行うとともに、信託金については、主としてコール・ローン等の安定資産で運用を行います。
分 配 方 針	毎年5月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	—	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	—	12.8	19.1	10.5	2.4	8.2	8.8

(注)全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)2010年5月から2015年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注)上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年5月26日現在)

○派生商品上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	日経225	株式先物(買建)	円	日本	202.4
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

○現物資産上位10銘柄

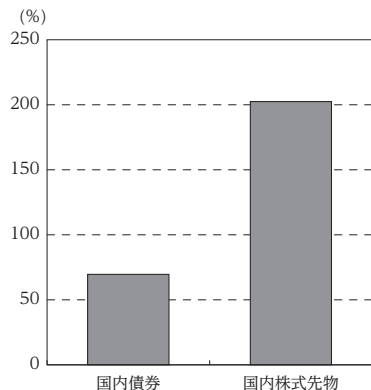
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	第524回国庫短期証券	国債証券(現先)	円	日本	69.5
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

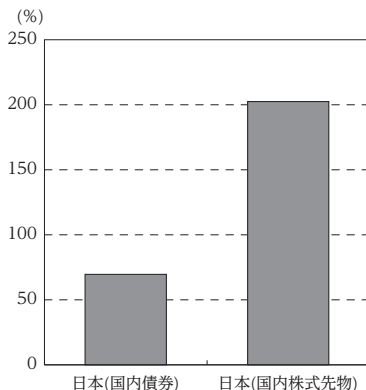
(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注)国(地域)につきましては発行国を表示しております。

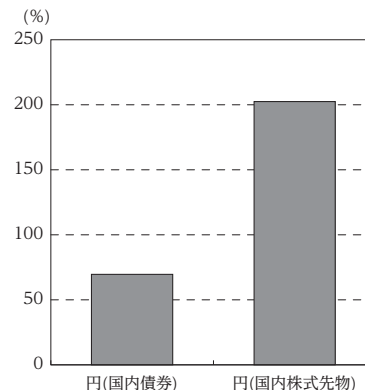
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第1期末
	2015年5月26日
純資産総額	1,223,800,760円
受益権総口数	637,897,811口
1万口当たり基準価額	19,185円

* 期中における追加設定元本額は4,093,554,699円、同解約元本額は3,555,656,888円です。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。